

日本版PINTゲートウェイ 検討資料

2021年1月8日

XBRL JAPAN 顧問 三分一信之

三分一技術士事務所 所長

ISO/TC 295 Audit data services 日本代表委員

元 東京大学大学院 情報学環 特任教授

ITCA 川内晟宏氏宛てメール 2021-01-07 11:04

日本版PINTゲートウェイについて[三分一]

12月の幹事会での岡本代表の「UBLで標準データを考えている」という指摘に対して、その実現方法を検討してみました。

PoCでは、請求データから変換した標準データの利用でしたが、標準データから変換して請求データをEDIに渡すことを考えると、EIPAが描いている**共通電子インボイスシステム**を実現するには、日本版PINTを簡潔な形に整理した上で一貫性のあるロジックを定義した**日本版PINTゲートウェイ**が必要と考えます。

中小企業共通EDIと欧州版コアインボイスの比較検討を12月に実施しましたが、基本的な情報の取り扱いレベルでも内税/外税、数量/単位、取引に関連する組織の情報の持たせ方、関連する文書との関連定義の仕方、アローアンス及びチャージ、等の違いや検討が必要な事項が多くあります。このため、Open Peppol国際版(PINT)の定義をそれぞれの業界EDIのデータ定義を包含して、整合性のある一貫した形にすることは難しく、複雑怪奇な鶴（ぬえ）のようなものになりかねません。

日本版PINTゲートウェイでは、日本版コアインボイスへ/からの**標準データ変換**に加えて、それぞれの業種EDIで必要とされる 取引識別子、処理日時、取引シナリオ識別子、取引シナリオ名、アプリケーション識別子、アプリケーション名、などの**EDI固有の情報付加**を行うことで、日本版PINTの規定を海外の方々にも理解しやすい形に整理できるのではないかと思います。

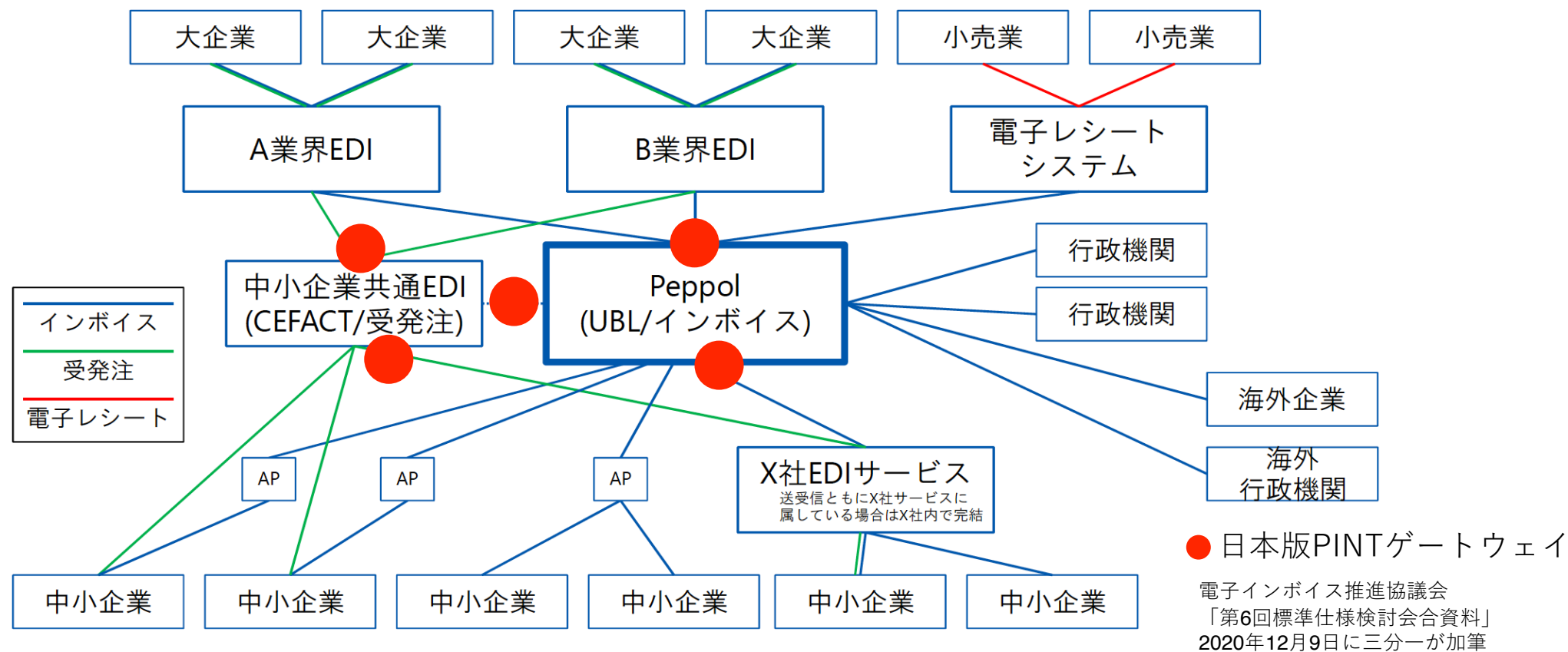
海外の事例は、それぞれのEDIをそれぞれの取引相手に応じて利用するという併存利用と思われます。**共通電子インボイスシステム**のような運用は、おそらく世界初ではないでしょうか。

実現可否の検討ならびに**日本版PINTゲートウェイ**をどのように実現するか判断が今後の工程に大きく影響します。

日本版PINTゲートウェイ

共通電子インボイスシステムとの関係

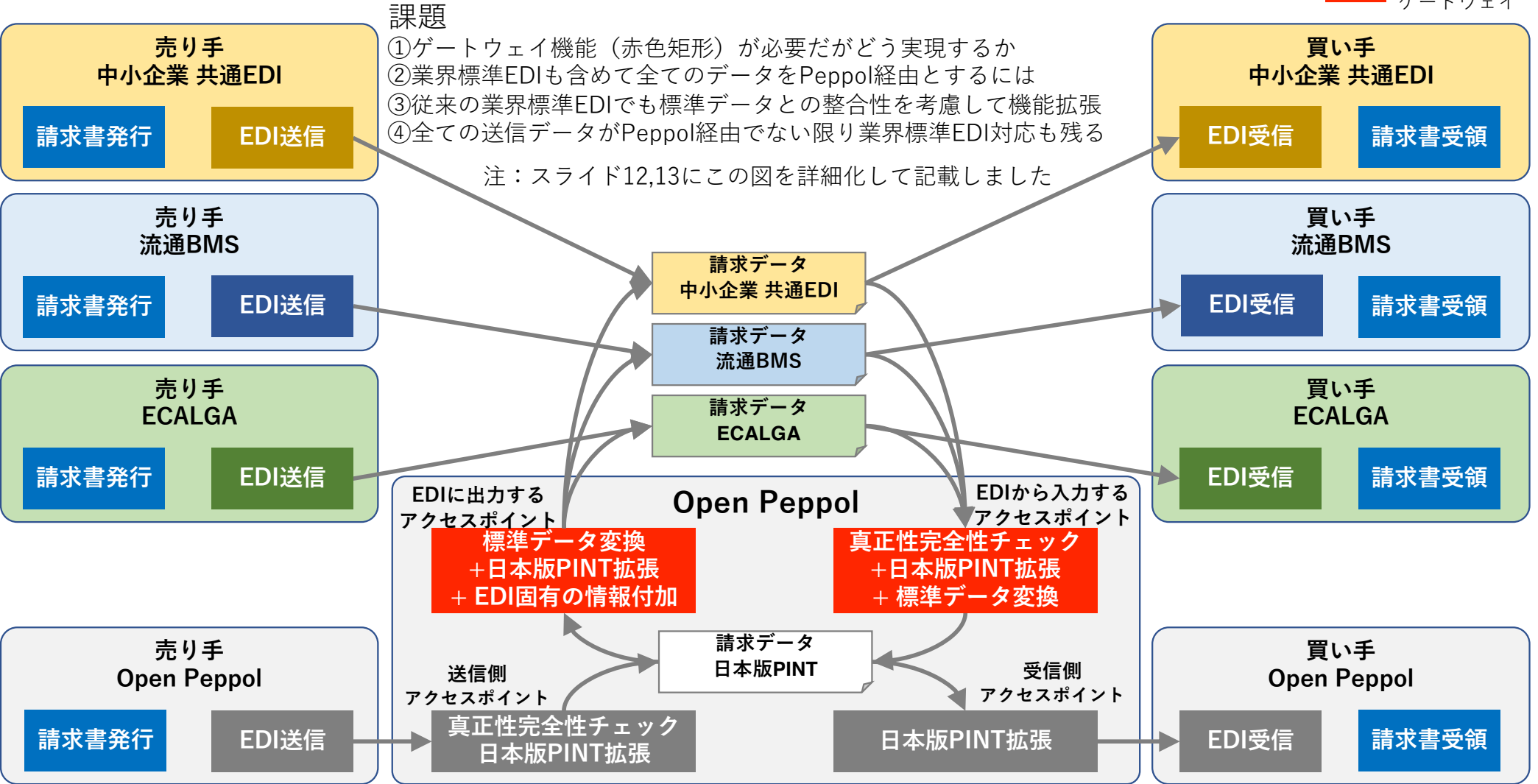
想定する「共通電子インボイスシステム」



共通電子インボイスシステムには「日本版PINTゲートウェイ」が不可欠

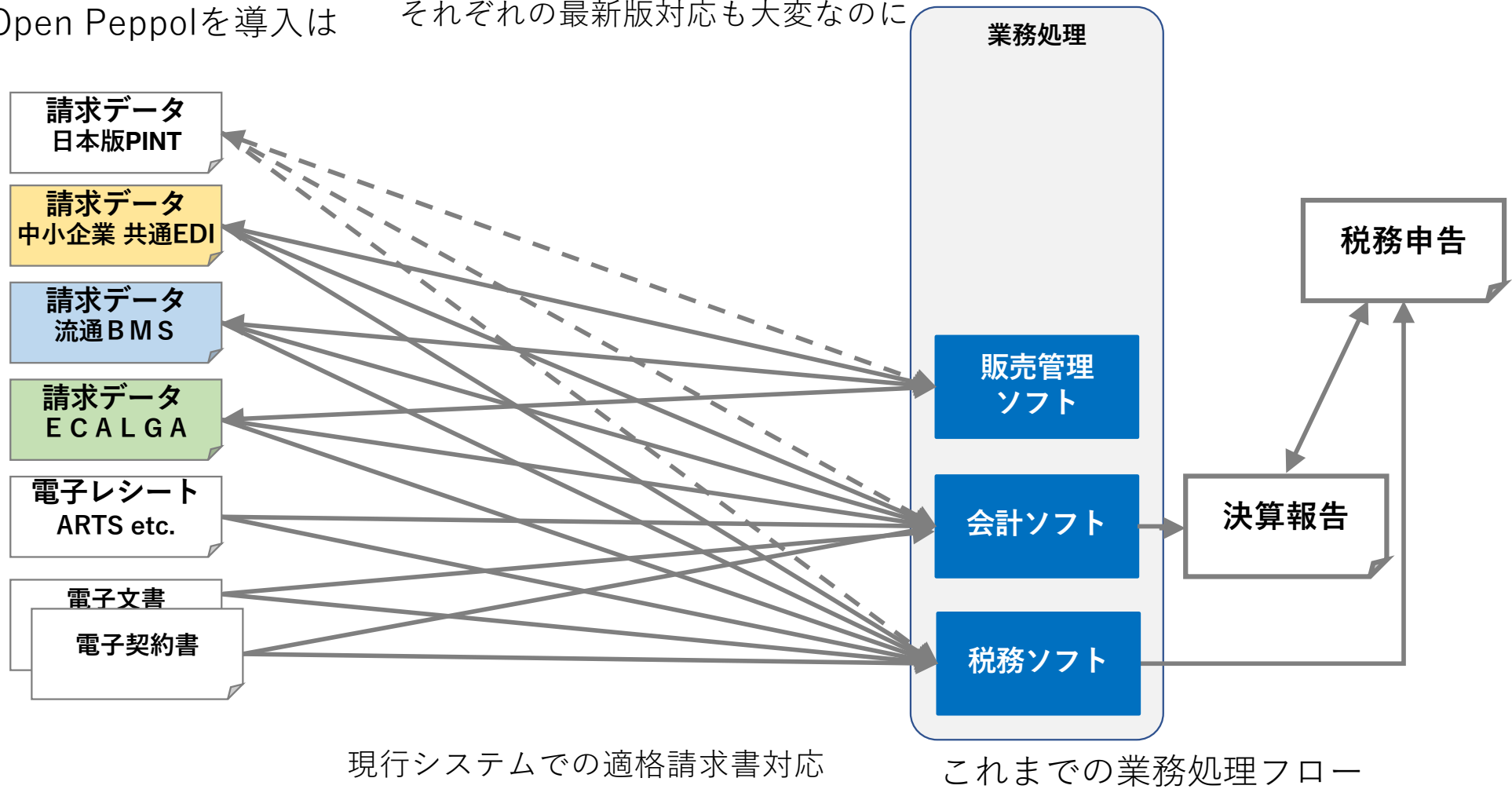
共通電子インボイスシステムには「日本版PINTゲートウェイ」が不可欠

日本版PINT
ゲートウェイ

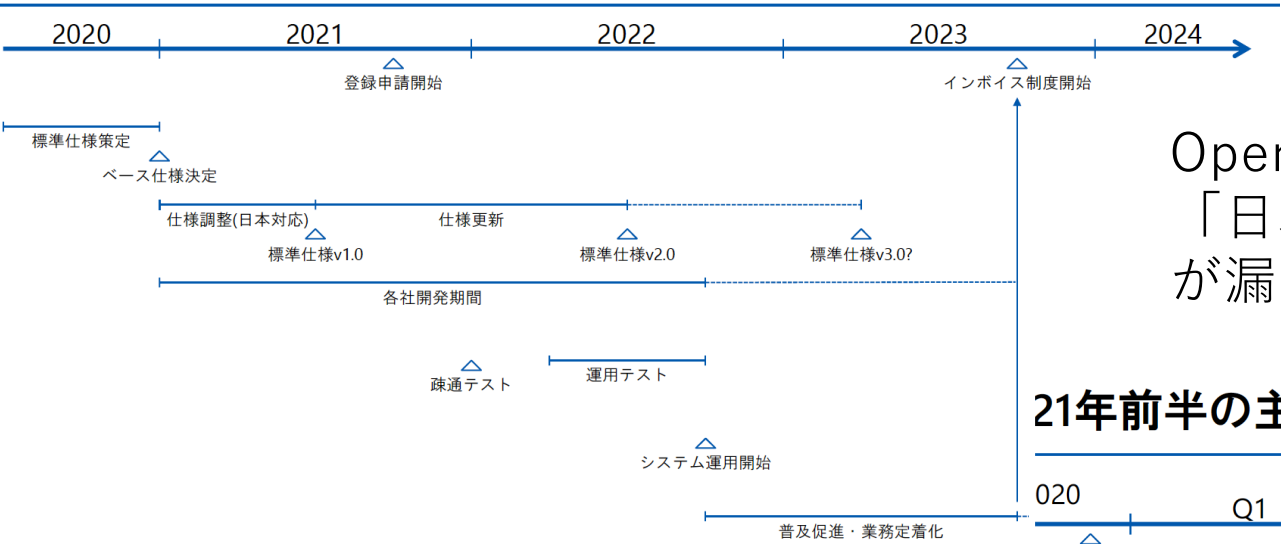


共通電子インボイスシステム
 （日本版PINTゲートウェイ）
 なき Open Peppolを導入は

これまでの各種フォーマット対応にOpen Peppol対応も追加？
 適格請求書のためだけに仕組みの変更をしたくない
 それぞれの最新版対応も大変なのに

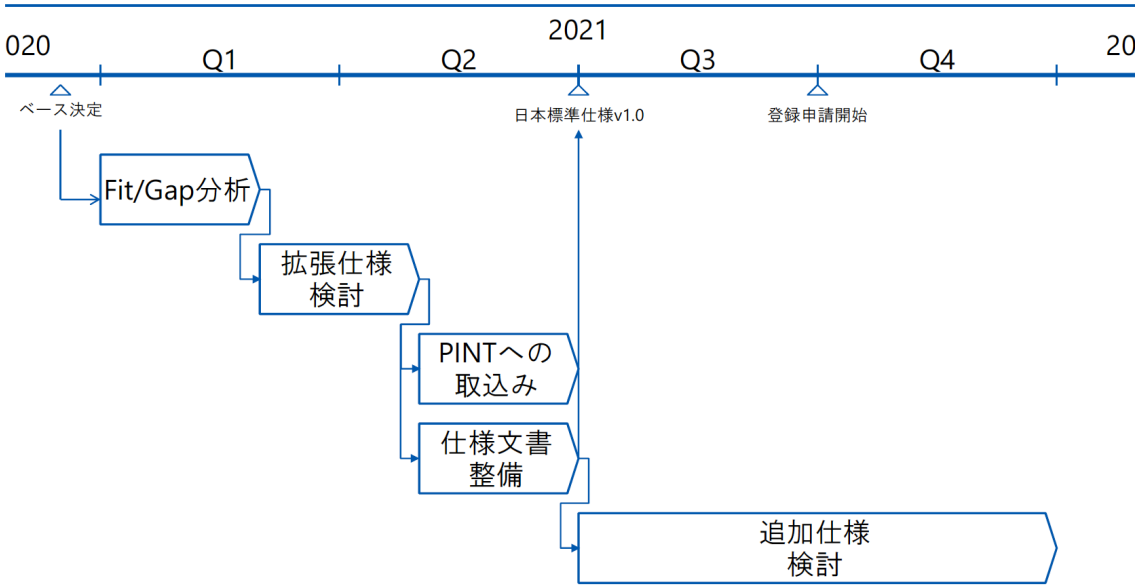


[参考] 電子インボイス普及に向けたタイムライン



Open Peppolアクセスポイントでの「日本版PINTゲートウェイ」開発が漏れていませんか？

21年前半の主要な活動タスク (主に標準仕様策定部会)



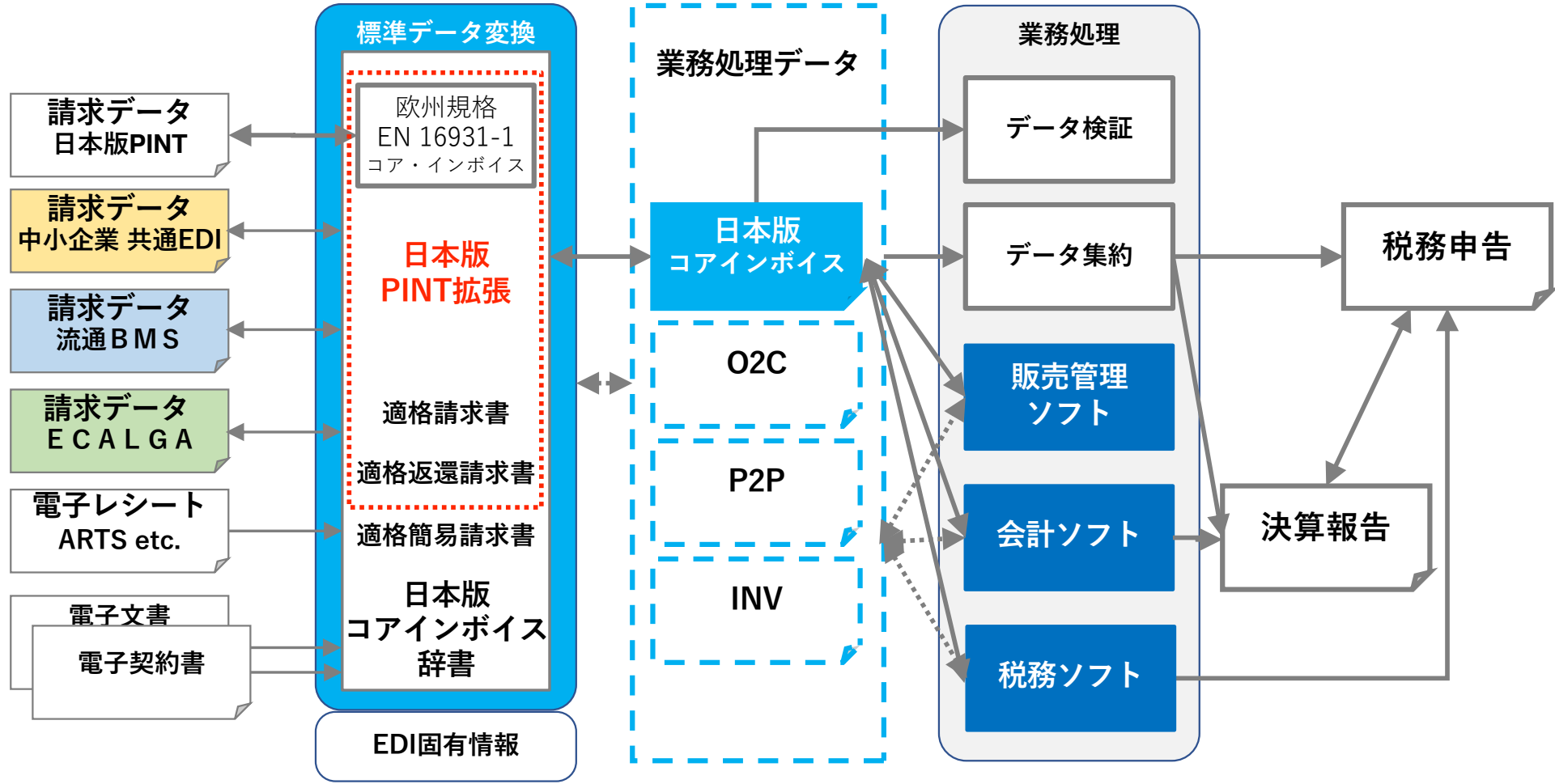
日本版PINTを規定し、Open Peppolで稼働し、EIPA会員の各社が日本版PINT対応の開発を行うだけでは「共通電子インボイスシステム」は実現しません。
「日本版PINTゲートウェイ」開発も必要。
疎通テストには「日本版PINTゲートウェイ」を通じた業界EDIとの連携テストも不可欠です。

日本版PINTゲートウェイがなくても

日本版コアインボイスへ/からの標準データ変換

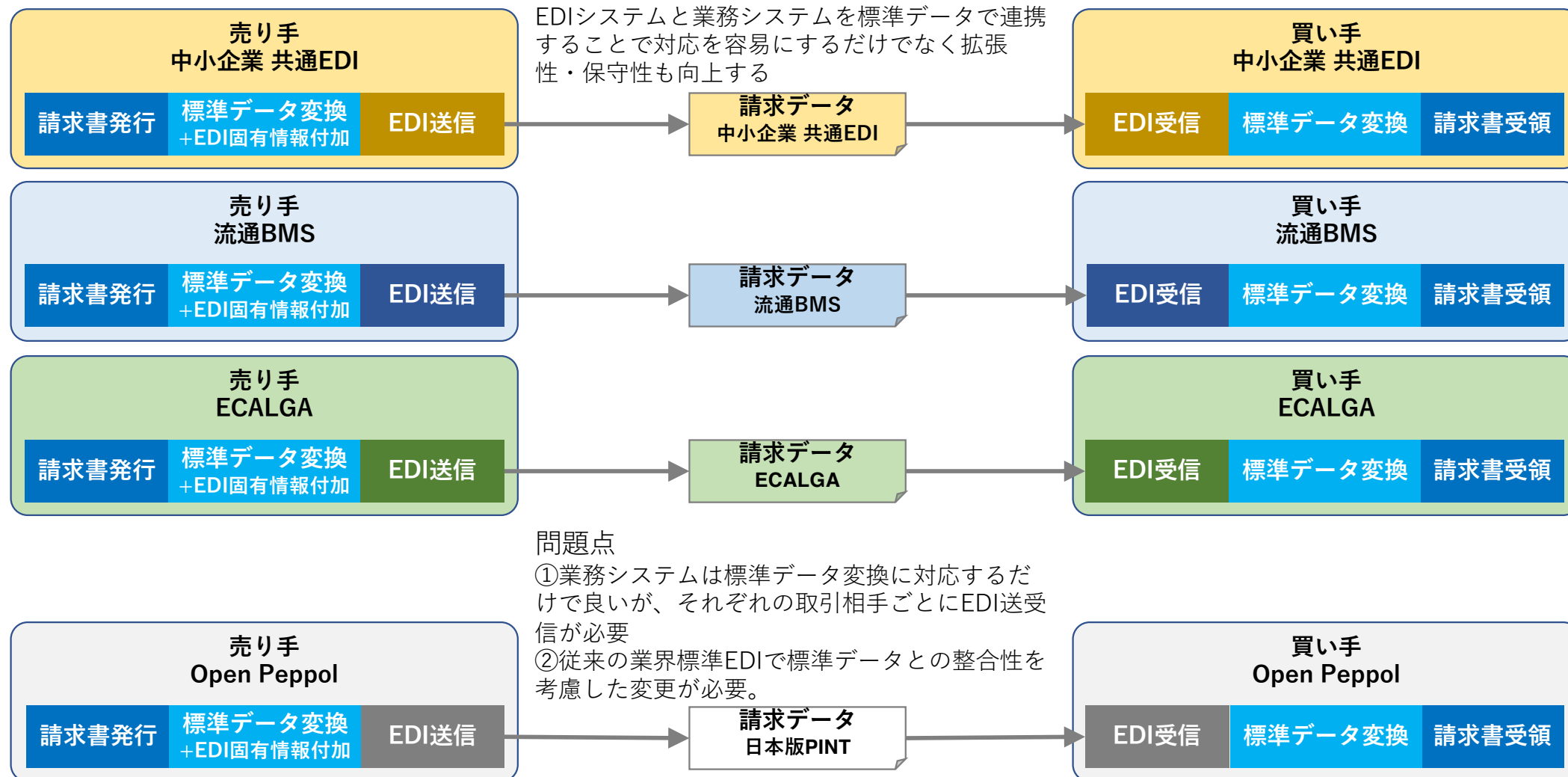
日本版コアインボイス
へ/からの標準データ変換

それぞれの仕組みはそのままに、日本版コアインボイス対応（1×n）
すれば個別フォーマットごとの対応（m×n）は不要



DXの業務処理フロー

それぞれの業務ソフトでの標準データ変換が現実的では

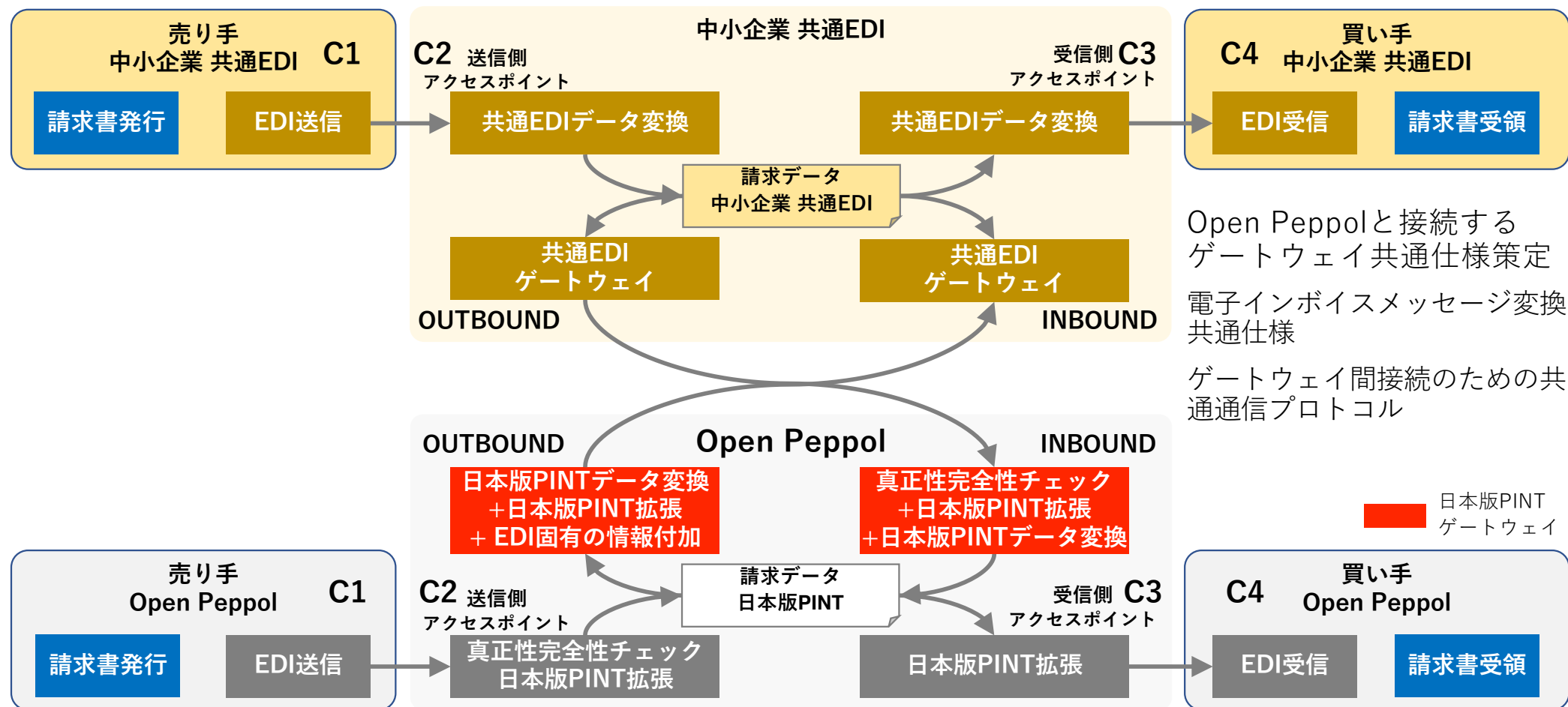


日本版PINTゲートウェイ

ITCA 川内晟宏氏

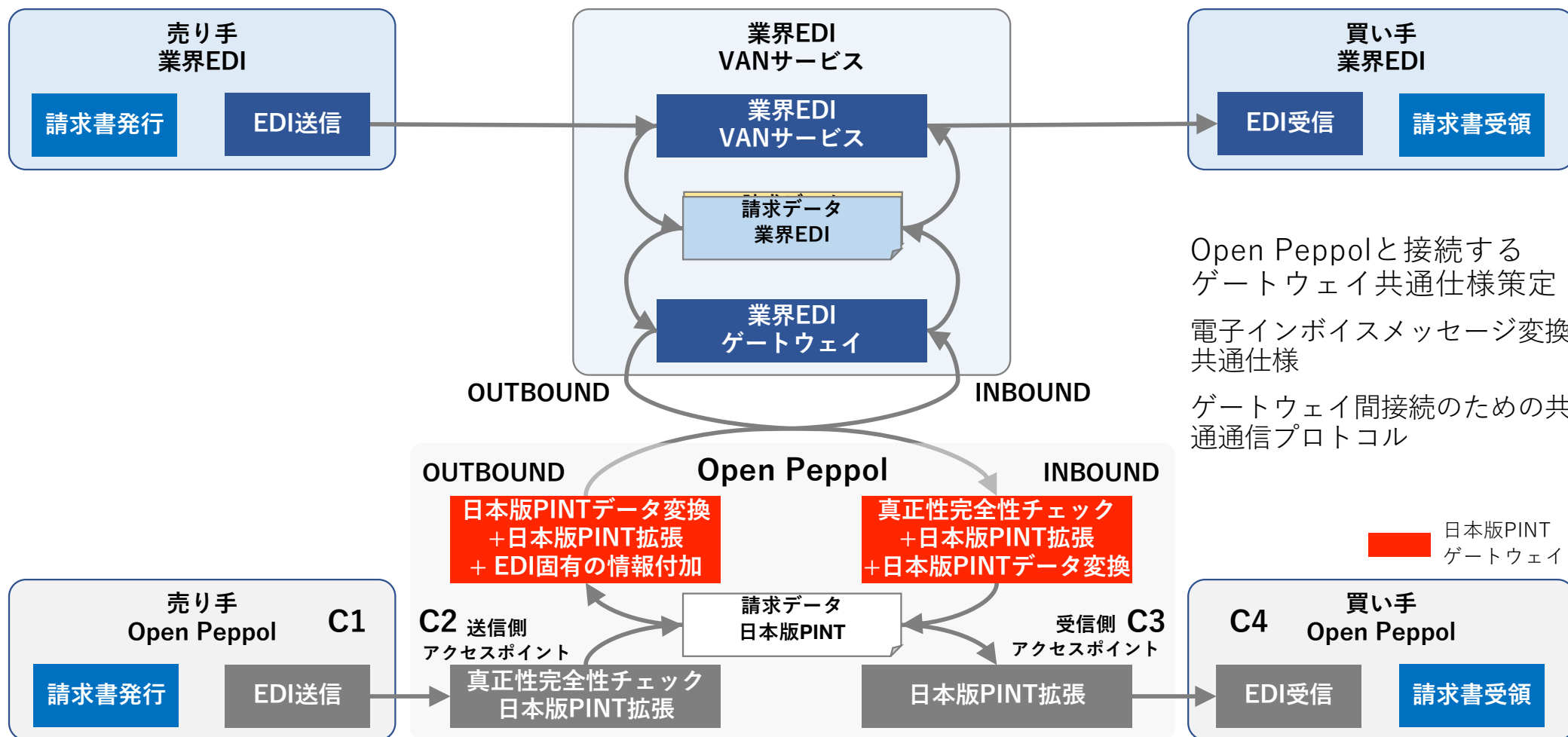
「日本版電子インボイスゲートウェイ検討」をうけて

中小企業共通EDIとの電子インボイスゲートウェイ接続



Open Peppolと接続する
ゲートウェイ共通仕様策定
電子インボイスメッセージ変換
共通仕様
ゲートウェイ間接続のための共
通通信プロトコル

業界EDIとの電子インボイスゲートウェイ接続



Open Peppolと接続する
ゲートウェイ共通仕様策定
電子インボイスメッセージ変換
共通仕様
ゲートウェイ間接続のための共
通通信プロトコル

日本版電子インボイス ゲートウェイ検討

特定非営利活動法人
ITコーディネータ協会
共通EDI標準部会

ITCA 川内晟宏氏からのメール回答 2021-01-07 23:48

Re: 日本版PINTゲートウェイについて[三分一]

三分一様

川内です。

資料拝見しました。

日本版PINTゲートウェイ検討資料について、川内案を作成しましたのでご検討をお願いします。

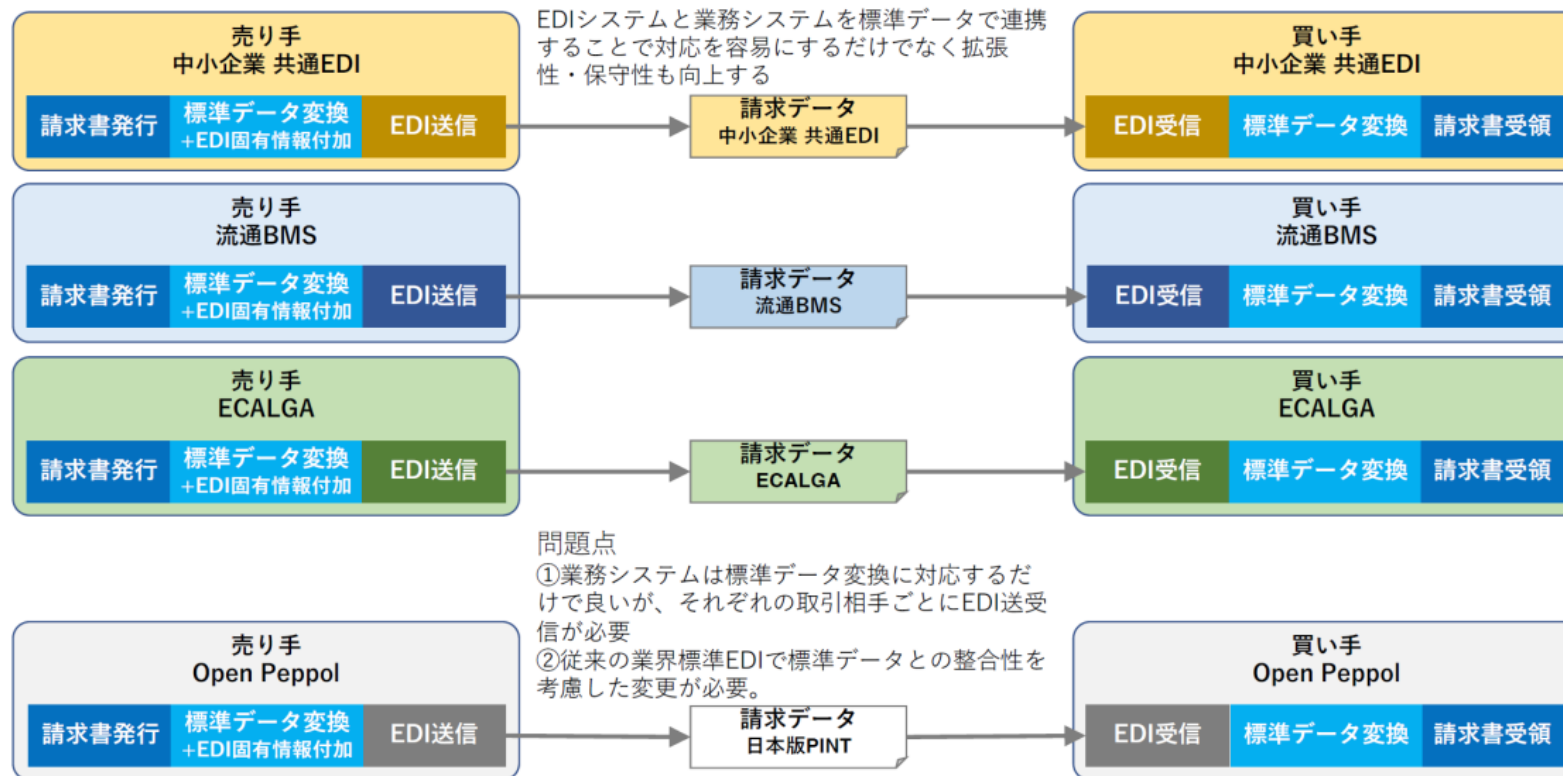
中小企業共通EDIのネットワーク構成は4コーナーモデルで大手業界EDIのネットワークと構成が異なりますので、この点を修正しています。

Open Peppolと接続するためのゲートウェイについては合意です。

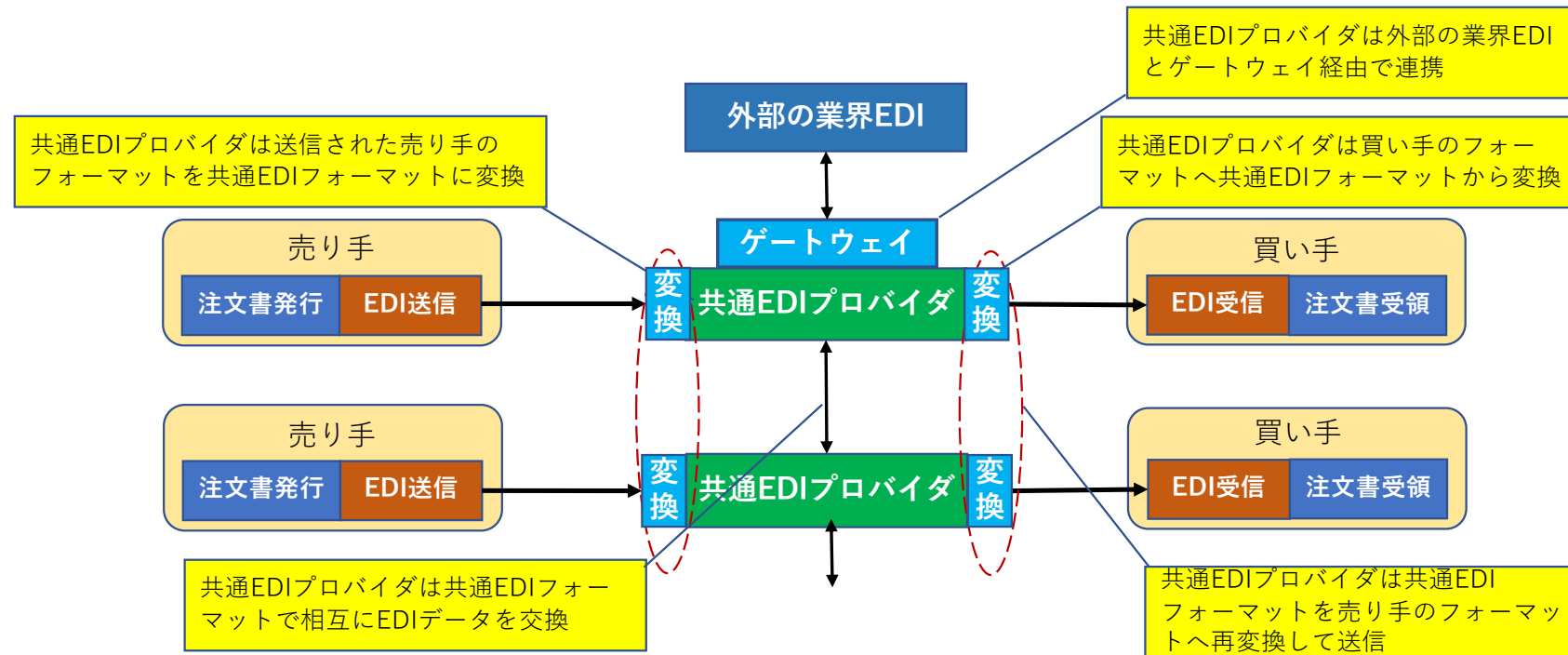
このゲートウェイは、国連CEFACTグループが当初からEIPAにその必要性を提案していた内容と同じです。

三分一様の提案

それぞれの業務ソフトでの標準データ変換が現実的では

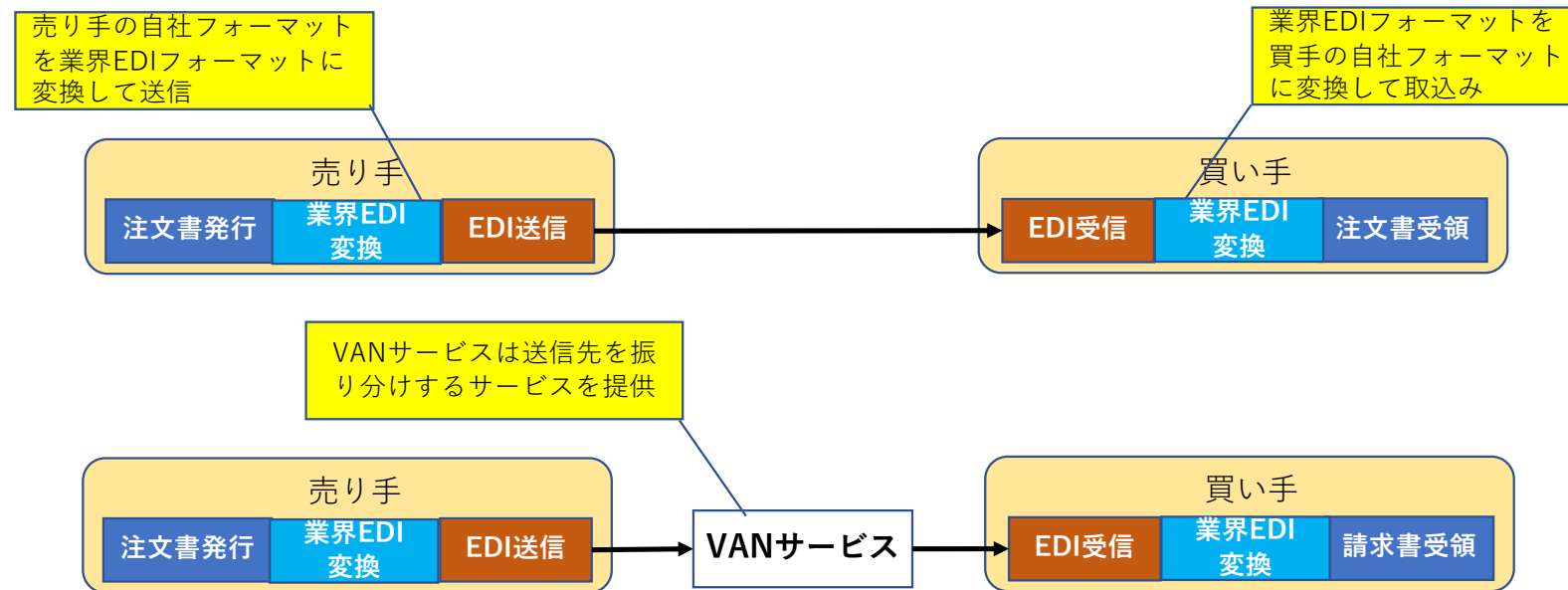


中小企業共通EDIのネットワーク



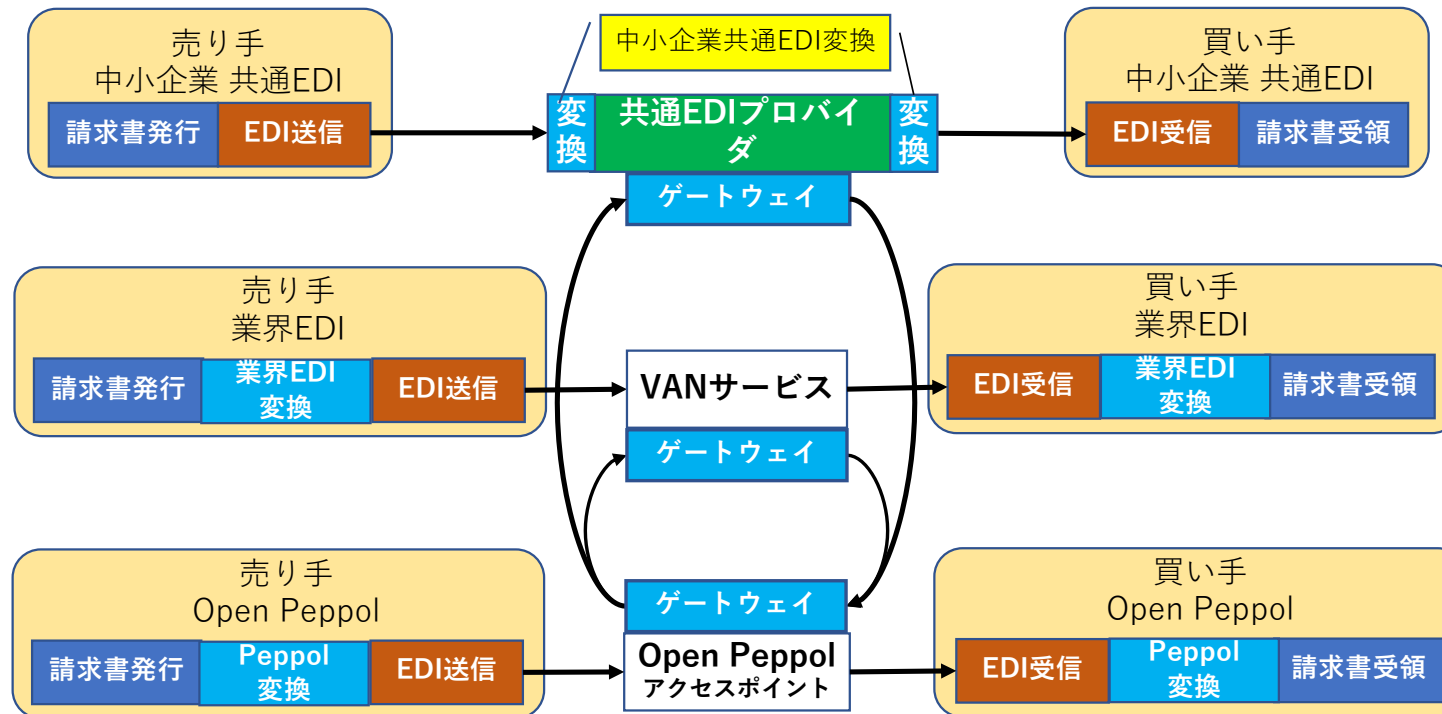
- 中小企業共通EDIのネットワーク構成は4コーナーモデル
→すべての共通EDIユーザーは共通EDIプロバイダ経由で相互に接続する
→多プロバイダ問題を引き起こさないために共通EDIプロバイダは相互にデータ連携する
- 売り手、買い手の業務アプリ固有のフォーマット変換をユーザーの負担にならないようにするため、共通EDIプロバイダが安価にフォーマット変換サービスを提供することにより中小企業のEDI利用を可能にした
→この構成とサービスが既存業界EDIのネットワーク構成と異なる点

業界EDIのネットワーク



- 業界EDIのネットワーク構成は1対1接続が原則。
→フォーマット変換ソフトを買い手、売り手それぞれが導入して変換する
- VANサービスも提供されている。VANサービスは送信先の振分サービスを提供。
→フォーマット変換は1対1接続と同様に買い手、売り手それぞれが実行する。
→このモデルは3コーナーモデル

Open Peppol との連携（案）



- Open Peppolと接続するゲートウェイ共通仕様を策定
 - 電子インボイスメッセージ変換共通仕様
 - ゲートウェイ間接続のための共通通信プロトコル